2．平成20年度全体概要

●山形河川国道事務所では、一級河川最上川や一般国道5路線の整備や管理（13・14頁参照）を通じて、安全で安心な生活の確保や豊かな生活の実現等を目指します。

●平成20年度の総事業費（受託等除く）は約374億円で、うち河川関係事業費約22億円、道路関係事業費は約352億円です。

●道路関係予算については、租税特別措置法などの成立により財源の見通しがついたかとから、地域の経済情勢等に鑑み、これに対応する予算について早期に執行することとしたところであり、地方の補助事業を優先するとともに、直轄事業についても、事業全体の工程に遅れを生じることがないよう、迅速かつ効率的な執行に努めてまいります。

予算の執行にあたっては、「道路関係業務の執行のあり方改革本部最終報告書」（4月17日）に基づき、無駄の排除など、予算の厳格な執行に努めてまいります。

○河川関係事業では、堤防の高さや幅が不足している最上川右岸の**荒小屋（あらこや）地区**（西村山郡河北町）において、**堤防嵩上げ等の築堤整備に新規着手**します。

さらに、**河川管理施設の機能を確実に発揮させるための維持・管理**並びに**危機管理対応のさらなる連携強化に向け、各自治体への情報提供支援等**を進め、安全で安心できる国土づくりを推進します。

また、最上川の魅力を活かした観光利用を促進し、地域活性化を支援する**最上川フットパス事業**を**朝日（あさひ）地区**（西村山郡朝日町）において**新規事業着手**します。

○道路関係事業では、**赤湯（あかゆ）バイパスの全線供用（平成15年度供用延長1,200mを含めて全体延長7,200m）**を図ります。　また、東北中央自動車道（福島～米沢北間）・（東根～尾花沢間）、新庄北道路、上山バイパスなどの工事を推進するとともに、防災工事、橋梁の耐震補強、路面の保全、沿道環境改善事業等を進め、道路交通の安全、円滑化を図ります。

（1）平成20年度における供用予定箇所

○道路関係（改築）

路線名	箇　所　名	計　　画		整備内容		摘　　要
		事業延長	車線数	供用延長	車線数	
113号	赤湯（あかゆ）バイパス	7.2km	4	6.0km (既供用延長1.2km)	2	南陽市

整備状況、整備効果　16、17頁参照

○道路関係（交差点改良）

路線名	箇　所　名	整備内容	摘　　要
13号	蔵王成沢（ざおうなりさわ）交差点	左折レーン新設	山形市

（2）平成20年度における新規事業箇所

○河川関係

河川名	箇　所　名	整備内容	摘　　要
最上川	荒小屋（あらこや）地区築堤事業	築　　堤	河北町
最上川	朝日（あさひ）地区フットパス	散策路等	朝日町

○道路関係（交差点改良）

路線名	箇　所　名	計　　画		事業内容	摘　　要
		延長	対策内容		
13号	長岡（ながおか）交差点	－	交差形状改良	・調査、設計、工事	南陽市
13号	金谷（かなや）交差点	－	右折レーン延伸	・調査、設計、工事	上山市

○道路関係（歩道整備）

路線名	箇　所　名	計　　画		事業内容	摘　　要
		延長	対策内容		
47号	最上町富沢（とみさわ）地内	200m	歩道拡幅	・設計、工事	最上町
47号	最上町向町（むかいまち）地内	800m	歩道拡幅	・調査、設計	最上町
47号	最上町若宮（わかみや）地内	900m	歩道拡幅	・調査、設計	最上町